

専門員の
発見日記

魚の歯いろいろ

森口夏季（ジオパーク専門員）



5月ごろに桜浜でこんなものを拾いました。かなり立派な歯ですが、2つがピッタリと横並びに噛み合った不思議な形をしています。詳しい人に聞いてみたところ、

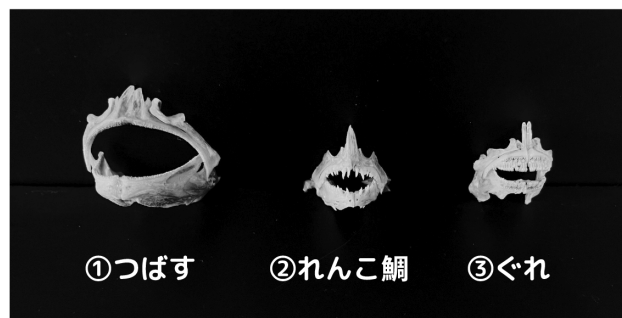


「ブダイの仲間の咽頭歯（いんとうし）ではないか」とのこと。ブダイの仲間は口元にある第1の歯の他に、のどの奥に「咽頭歯」と呼ばれる第2の歯があるのだそう。

竜串湾ではブダイやアオブダイなど、ブダイの仲間が10種確認されています。好物は藻類。アオブダイなど一部のブダイの仲間は、くちばしのような硬い歯で藻類を岩礁やサンゴごと削りとりて食べ、咽頭歯で細かくすりつぶします。すりつぶされた岩やサンゴは細かい砂になって体外に排出されます。桜浜の砂にももしかしたらブダイの仲間たちが作った砂粒がたくさんまじっているのかも・・・。



それにしても、第2の歯を持つ魚がいるなんて、知りませんでした。どうやら魚の歯や口の形は、食べるものによって大きく異なるようです。面白そうなので、魚の顎の骨格標本を作ってみることにしました。材料はスーパーで買った魚たち。



さすが魚の街、土佐清水。鮮魚コーナーに行くと新鮮な魚がたくさん。身は美味しくいただき、顎の骨を取り出して骨格標本を作りました。「販売名」はスーパーで販売されていた時のラベルに書いてあった名前です。

1. 販売名：つばす（ブリ | 土佐清水産）

つばすは若いブリのこと。土佐清水では「やず」とも呼ばれます。意外にも鋭い牙はなく、ざらざらとした突起がたくさん並んでいるだけ。回遊魚で小魚を丸のみにして食べます。

2. 販売名：れんこ鯛（キダイ | 土佐清水産）

タイ科の中ではめずらしく臼歯がありません。代わりに鋭い牙がありました。沖合の砂底に住み、甲殻類や小魚、タコやイカなどを食べます。

3. 販売名：ぐれ（クロメジナ | 土佐清水産）

細長い歯がびっしりと生え、まるでクシのようです。沿岸の岩礁に住み、雑食性で、このクシのような歯で甲殻類や海藻を食べます。

骨格標本にしてみると、歯の形も食べ物も住んでいる環境も、魚の種類によって様々であることがよくわかりました。多様な環境とそこに暮らす生き物たちが、いろいろな種類の魚を育み、私たちの食卓を支えているのですね。



体験

津波からサバイバル！ シール de 防災リュックづくり

「体験し、みずから学ぶ防災フェスタ in SATOUMI」に出展します！

遊びに来てね！

11/7 (土)
10:00~15:00

発行

一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎 4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@tosashimizu-geo.jp

web

